

第88回 全国高校野球選手権大会 出場

～夢・感動・感謝～



七月八日から七月二十六日まで、連日熱戦が繰り広げられた栃木大会において、堅実な投手力と守備力、そしてここ一番の集中打をみせ、見事、六年ぶり九度目の甲子園出場を勝ち取った。

《甲子園までの足どり》

〓 栃木県大会 〓

二回戦

7 対 0 栃木農業

三回戦

8 対 2 宇都宮商業

四回戦

10 対 0 宇都宮清陵

準々決勝

8 対 6 小山西

準決勝

7 対 0 青藍泰斗

決勝

7 対 1 佐野日大

《甲子園大会》

〇 一回戦 〇

11 対 10 関西 (岡山)

劇的サヨナラ勝ち

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
関 西	0	3	0	0	1	0	5	0	1	10
文星附	0	0	0	0	2	2	0	3	4	11

試合経過
5 回裏
妻沼が右中間へ2点二塁打
6 回裏
佐藤の適時二塁打と押し

出し四球で同点

7 回裏

本塁打を二本浴び絶体絶命

8 回裏

四球の走者を3連打で還す

9 回裏

5 安打を集中し逆転サヨナラ勝ち



〇二回戦〇

3 対 12 今治西 (愛媛)

初戦の逆転サヨナラ勝ちの勢いそのままに、初回に先制したが、その後は相手に攻め込まれてしまった。最終回に一点返して意地を見せたが、及ばなかった。しかし、最後まで懸命なプレーを見せたナインに、スタンドから惜しみない拍手が送られた。

夢の場所に

辿り着くまで…

憧れ続けた甲子園

硬式野球部

主将 渡邊 貴美男

そこは何か初めての経験ばかりで、まさに「聖地」と呼ばれるにふさわしい場所でした。

このチームをスタートさせたのは七月十一日。前日の試合でまさかの県大会一回戦負けを喫した翌日のことでした。まだ他のチームが夏の甲子園を目指し戦っている最中に、連日黙々とノックを受け続け、バットを振り続け、精神的にも肉体的にも限界まで追い込む毎日でした。新チームは、



前チームから試合の経験を積んでいる選手が多く、高いレベルの野球を目指し、真夏の日差しが照りつける中、約二ヶ月間、必死に練習を積み重ねました。今思えば、勝つ喜びを味わうことなく終わってしまった夏の大会が、自分達に「何かなんでも勝ちたい。」という気持ちを植え付け、闘志を奮い立たせ、結果的に一年後の夏に最高の形で実を結ぶことができたのだと思います。

そして、新チームとして始めての公式戦である秋の大会。夏の練習が実り、見事に秋季大会優勝という栄冠を勝ち取ることができました。しかし、栃木県第一代表で迎えた関東大会において、神奈川県第二代表の東海大相模高校と対戦し、結果は二対三。憧れの甲子園出場が目の前で絶たれた痛恨の一敗でした。点差以上、力を感じた一戦で、やはり選手個々の能力が高く、レベルアップする必要があります。そして、迎えた長い冬の練習、夢を目前にしながら破れた悔しさと、来春への雪

辱を胸に一人一人が高い意識で練習に励みました。長く辛い時期を乗り越え、新たな気持ちで挑んだ春季大会は、調整不足と、勝ちたいという気持ちが空回りし、準々決勝で青藍泰斗に二対二で敗退。関東大会の切符を目前で逃し、チームの雰囲気は最悪に。しかし、様々な問題が壁となり、どんなに厳しい状況に置かれても、励まし応援してくださった皆さんの方々のおかげで野球ができた自分達は、今年の夏とは違い「支えてくれた多くの方々のために勝って恩返ししたい」という意識に変わりました。

自分たちがさらに高いレベルの野球を目指すきっかけとなったある練習試合がありました。それは昨秋に関東大会で敗れた東海大相模との練習試合です。結果は二対四で破れてしまいましたが、結果以上に大切なものを学びました。守備に走塁、こころの集中力、そして一球の大切さ。一発勝負の高校野球で、いかに調子の波を少なくし安定したプレーをすることが大事かを肌で感じました。そして迎えた最後の夏の大会。勝負所での集中打、一瞬のスキを見逃さない走塁、一年間、一番時間を割いて鍛えあげた守備という新しいカラーに成長した姿を見ることが出来ました。試合を重ねるごとに、スタンドから応援してくれた選手達、父兄の方々、学校関係者の方々に応援団、それぞれの心が一つとなり、まさに全員野球で勝ち得た「恩返し」の優勝でした。

憧れの甲子園への切符を手にした矢先、部員の暴力事件への関与の報道が流れ、チームに激震が走りました。しかし、高野連の方々の寛大な措置もあり何とか出場辞退は免れました。そして、甲子園に乗り込み、初戦の関西戦で劇的な逆転サヨナラ勝ちを納め、栃木県勢四十勝目を最高の形であげることが出来ました。自分たちのためにご尽力いただいた方々に価値ある一勝をプレゼントすることが出来たことをとてもうれしく思います。

残念ながら二回戦、愛媛代表の今治西に敗退しましたが、文星芸大附の名を全国に広めることができたことを誇りに思います。最後に栃木県高野連、報道関係の方々、高野球ファンの方々をはじめ、自分たちをここまで導いてくれた監督、部長、コーチ、学校関係者、そして家族、ご支援ご声援して頂いたすべての方々に心から感謝しています。本当にありがとうございました。

アルプスより

応援団 団長 柴 啓一



我々応援団は、本校の昔のスタイル(学ラン)を身にもとめ、気持ちを引き締め、応援席を一つにまとめ、大きな声を張り上げてきました。甲子園での応援は、我々応援団にとっても夢の舞台であり、そこに立って指揮できたことを誇りに思っております。ナインが球場に入場したときから、アルプス応援席は熱く燃えていました。エール交換や校歌、選手の名前をコールするとき、応援席から返ってくる大きな声は、必ず選手に届いていたものと思います。特に関西戦の九回の攻防では、今まで以上に心が一つにまとまり、全員が勝利を信じ、声を張り上げ「文星がんばれ」「文星がんばれ」と応援をし続け、逆転サヨナラ勝ちを収めました。うれしくて涙が止まりませんでした。県大会から応援をし続け、始めは少ない人数だったかもしれませんが、しだいにその輪は大きくなり、野球部以外の部活動の仲間たちも忙しい練習の合間を縫って駆けつけてくれて、応援団はもちろん、野球部の選手たちにも励みになったと思います。

応援団をやっている本当によかった。いろいろな面で我々を支えてくださった保護者の皆さんやOBの方々、そしてともに声援を送り続けてくださった皆さんに感謝いたします。ありがとうございました。

闘魂

音楽部 部長 佐藤 淳一



甲子園のアルプススタンドは大きかった。栃木県の代表として文星硬式野球部が甲子園に出場する。県大会初戦から一緒に応援している宇都宮文星女子校吹奏楽部とともに、僕たち音楽部は栃木県の代表応援団である。恥ずかしい応援演奏は出来ないと思って演奏をした。

シートノックの「闘魂」。この勢いで9回まで持つのか心配になるほど、みんなの音には勢いがあつた。序盤、試合は押されっぱなし。正直、この勝負難しいと思った。でも、応援で選手達に勇気を持って最後まで戦ってもらいたかったので、全力で応援し続けた。

チャンスの時の「闘魂」。全力での演奏に選手は答え

てくれた。7回、8回、9回と「闘魂」を演奏し続けた。栃木県から来た一般の方は「違う曲で盛り上げた方が」と長谷川先生に詰め寄るといふこともあったが、僕たちは『闘魂』で応援したかったし、一緒に応援していた応援団、野球部員、生徒達も同じ気持ちであつたはず。

9回、見事に追いつき、曲を『ダッシュ文星』にチェンジ。ドラムを叩く自分の腕も、楽器を吹くみんなの体力も限界を超えていたはず。でも、全くそんなことは感じられなかった。そして、さよならヒット! すごい! こんな経験は一生に一度しか経験出来ないだろう。文星に入学して音楽部に入って本当に良かったそう思える一瞬だった。

2回戦も全力で応援したがその思いは届かなかった。しかし、決して悔いの残る応援ではなかった。こんな経験をさせてくれた硬式野球部のみんなに『感謝』したいと思う。

全国高等学校総合体育大会(06総体THE近畿) ハンマー投げ弓田選手全国第3位に輝く!!

平成十八年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)が八月一日(火)に大阪府で開幕し、二十日間の熱戦が繰り広げられた。本校からは「卓球部」、「陸上競技部」が出場した。

陸上競技部

八月二日(水)から六日(日)にかけて、長居陸上競技場において行われた。

普通科二年の弓田倫也選手が「砲丸投げ」「ハンマー投げ」に出場した。「砲丸投げ」では予選通過を果たせなかったものの「ハンマー投げ」で決勝進出を果たし、見事全国3位に輝いた。

【砲丸投げ】

予選 弓田 倫也 14 m 58
3位 弓田 倫也 58 m 67

卓球部

八月七日(月)から十一日(金)にかけて、大阪市中央体育館において行われた。

シングルのインターハイ本選出場条件は「県予選ベスト4進出」そのわずか四名の出場権のうち三名を本校の英進科三年青木淳、同じく二年澤島正輝、普通

和太鼓部 in 宮祭り

科一年鈴木誠選手が獲得し本選に出場した。惜しくもベスト8入りは果たせなかったものの本県の代表として健闘した。

八月五日(土)、六日(日)に宇都宮市内で開催された「ふるさと宮祭り」。五日(土)特設会場での「和太鼓演奏会」に本校和太鼓部が参加した。日頃から練習を続けた自慢の演目「男体おろし」が祭の空に響き渡った。



「和太鼓」

第六十回国民体育大会(のじぎく兵庫国体) 剣道部・陸上競技部・水泳部が代表として出場

九月三十日(土)に開幕した第六十一回国民体育大会(のじぎく兵庫国体)。県の代表選手団に「剣道部」、「陸上競技部」、「水泳部」のメンバーが選ばれ、十一日間の熱戦を繰り広げた。

十月一日(日)から四日(水)にかけて行われた剣道で、福田、横山、田崎の三選手を含む栃木県勢が少年の部で団体4位入賞を果たした。

競泳の谷田選手は十月一日(日)400m個人メドレーに出場。全国の舞台で健闘するも、予選通過はならなかった。

陸上競技は十月六日(金)から十日(火)にかけて行われ、「砲丸投げ」、「ハンマー投げ」の二種目に弓田選手が出場。「ハンマー投げ」決勝において自己のインターハイ記録を上回る好成績を出し、見事全国2位に輝いた。

各競技とも野州健児の意地と実力を存分に示した選手たちの今後の活躍を期待したい。

《国民体育大会結果》

▽競泳(尼崎スポーツの森)

《出場選手》

谷田 智史(英進科一年)

《結果(記録)》

【400m個人メドレー】

予選 4分43秒28

▽剣道(赤穂市民総合体育館)

《出場選手》

福田 嘉弘(普通科三年)

横山 雄介(普通科三年)

田崎 悟(英進科三年)

《結果》団体 四位

(一回戦) 栃木3-2佐賀

(二回戦) 栃木4-1宮城

(三回戦) 栃木3-2京都

(準決勝) 栃木1-4埼玉

(三位決定戦)

陸上競技は十月六日(金)から十日(火)にかけて行われ、「砲丸投げ」、「ハンマー投げ」の二種目に弓田選手が出場。「ハンマー投げ」決勝において自己のインターハイ記録を上回る好成績を出し、見事全国2位に輝いた。

▽陸上競技

(ユニバー記念競技場)

《出場選手》

弓田 倫也(普通科二年)

《結果》

【砲丸投げ】

決勝 14 m 55 (19位)

【ハンマー投げ】

決勝 60 m 33 (2位)

県新人戦・一年生大会(七月〜十月)

バスケットボール部

一年生大会制す

会長杯争奪県高校一年生バスケットボール大会が八月二十一日(月)から二十三日(水)の三日間にかけて行われ、最終日に栃木市体育館で準決勝、決勝が行われた。本校バスケットボール部は決勝戦にて101-90で作新学院を下し、見事優勝を勝ち取った。

《決勝》

文星芸大附 101
21 27 23 21
11 26 28 25
90 作新学院

水泳新人戦

谷田個人メドレー二冠

九月三日(土)、四日(日)

栃木県総合運動公園にて栃木県高等学校新人大会が行なわれた。男子個人メドレー200mと400mで、英進科一年谷田智史選手が大会新記録で優勝した。

【個人メドレー200m】
2分13秒53(大会新)

【個人メドレー400m】
4分42秒45(大会新)

硬式テニス部

一年生大会団体3位

栃木県高校新人大会
森下・八本組8強入り

八月一日(火)から三日(木)にかけて行われた高校一年生チーム対抗戦(栃木市総合運動公園)において、硬式テニス部が団体戦で3位入賞を果たした。

また九月九日(土)に開催した栃木県高等学校新人大会(栃木県総合運動公園)において、普通科一年森下・八本両選手のペアが準々決勝に進出した。この大会でダブルスを制覇した清水・氏原組(足工大附)に破れるも、ベスト8入りを果たした。

日光街道清掃活動

(インターアクト部)

七月二十二日(土)、「日光杉並木街道クリーン作戦」に本校インターアクト部が参加した。部員三名は日光街道の旧道(今市市小倉町〜森友間 約3km)のゴミを、汗をぬぐいながら回収した。世界に誇る日光の環境を県民として守っていく意思を育むよいきっかけとなった。

一日体験学習

八六五名が参加

八月十九日(土)・二十日(日)に一日体験学習が行われた。二日間で中学三年生が六四八名、保護者が二一七名、合計で八六五名が参加した。

参加者は英進科・普通科・総合ビジネス科の特徴ある授業を実際に受けた。英進科では模擬授業が行われ、本校独自の進路学習を参加者は体験した。

普通科の進路コースでは英会話の模擬授業が行われ、カナダ人教師のニコラス先生との交流を楽しんだ。

普通科総合コースでは二年次における学校設定科目として三年次における総合学習の時間に行われている「自動車整備」「ゲーム・CG」「スポーツ」「調理」の授業を中学生が体験した。

「自動車整備」ではロビンエンジンの仕組みやエアツールという道具の使用方法を教わっていた。「ゲーム・CG」ではパソコンを使ってうちわを作成した。「スポーツ」ではターゲッ



ト・バードゴルフという羽の付いたボールでゴルフをするというニュースポーツを体験した。「調理」では参加した生徒が自ら料理したカルボナーラ・スパゲッティを美味しく食べていた。

普通科美術デザインコースでは和紙の板染めの授業が行われ、参加者は思い思いの作品を作っていた。

総合ビジネス科ではパソコンのプログラミングについての授業が行われ、中学生は一生懸命キーボードを打っていた。

この一日体験学習を通して中学三年生やその保護者の方に、本校の教育内容や設備等に対しての理解を深めてもらうことができた。

普通科総合コース授業紹介

「自動車整備」・「調理」

自動車整備

二年生から始まる普通科総合コースの四つの選択授業(自動車整備・調理・ゲームCG・スポーツ)の中で人気の有る自動車整備は、よく工業系の科目と勘違いされます。授業内容はもちろん自動車整備が中心の授業です。二年生で学ぶ内容は、まず基本的な事を中心に服装・挨拶・工具の準備から後かたづけ、清掃まで将来自分達が実社会で働く環境と同じにと考え取り組んでいます。また普段の生活の中でも知っている

調理

と便利なパンク修理や簡単な板金修理、車の整備点検など将来車を所有した時にメンテナンスやトラブルにも対応できるよう幅広く生きた学習内容にしています。三年生では進路選択に有利な資格取得に向け取り組みます。今年度も普通救命救急・フォークリフト・高所作業・溶接資格・乙種危

険物取扱などを受験し一七二名(延べ人数)が資格を取得できました。授業内容のレベルも高度なものになりエンジンの構造や調整、シャーシの構造や組上げなど三級整備程度の内容です。さらに先の専門的な進路に進む事も前提に学習しています。

総合コースの自動車整備は、一つの事だけに留まらず、普段の暮らしの中や、将来において必要とならうる事など生きた授業を体得実践し自分のものとして役立たせて行って欲しい。

調理コースの特徴は、食物三、四級テストを受けてもらい、調理の基礎基本を身につけること、そして地産地消、スローフードに着眼し授業内容を考え実施していることです。

二年生では、基本的な技術と知識を身につけていきます。検定の受検をきっかけに、包丁の使い方、栄養の知識、食材の調理性について学んでいきます。外食産業が発展してきている現代、外食産業に頼らず家庭でも出来る簡単な料理を体験し、食生活に生かして行って欲しいと考えています。また、日本の伝統的な行事食も意識し、メニューに取り入れています。

三年生になるとスローフードを強く意識した授業になります。味噌、豆腐、こんにゃくなど日常ではスーパーなどで購入してしまいう加工食品を原料を素に



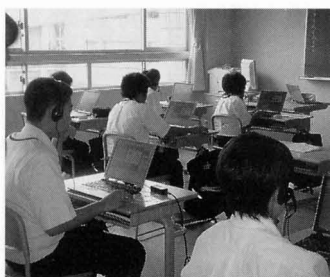
手作りしていきます。現代忘れ去られがちな四季折々の食彩も、草もち作りを通して体験してもらいます。また、食物三級テストを受けてもらうことで、技術や知識に幅を持たせていきたいと考えています。このようになささま体験を通して、自分たちが食べているものをより深く考え、選ぶ力が付き実生活に生かしてくれらることを期待しています。また、外部より特別講師の先生方をお呼びし、現場で仕事をされている方々の生の声と腕前を間近に感じ、進路決定のきっかけになればと思っています。

二年間を通して「食」は人を良くすると書くことの意味を実感でき、また数々の経験が大人になってからさまざまな形で生かしていきます。

文星ジャーナル (文星芸大附属中学校)

九月七日(木)【英語】

二年生十三名は、英語の授業時には二クラスに別れて学習しています。今日は八名がパソコンを使った「個別英語学習システム (LADO オンデマンド学習プログラム)」の授業、五名がALTのクリス先生との授業です。



▲LADOの様子

その頃、お隣のクラスではクリス先生が、ペルー旅行の写真をスクリーンに写しながら、英語でおみやげ話をしていました。

九月八日(金)【理科】



▲たくさんの実験を行っています

一年一組十三名は、モノコードを使った実験をしています。一班三人で、モノコードに自由に触って音の違いを記録しています。このグループでは震える弦の長さの違いによって、音の高さが変化することを発見したようです。

理科室横の廊下では、一・二年生の夏休みの自由研究が公開されていて、自由に見ることが出来ます。研究の結果をポスター風にまとめたものや、厚いノートに記録したものなど様々で、苦心の跡が見られる大作ばかりです。

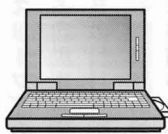
九月十一日(月)

【パソコン】

放課後、生徒たちはパソコンの基本操作を学んでいます。一人一台のパソコンを使い、一学期はインターネットの検索の仕方とワードの使い方を学習しました。二学期からは、エクセルの基本を練習しています。スクリーンに映される先生の操作を見ながら入力していきます。みんな細かい数値や計算の入力に苦労しているようです。



▲パソコンとにらめっこ!

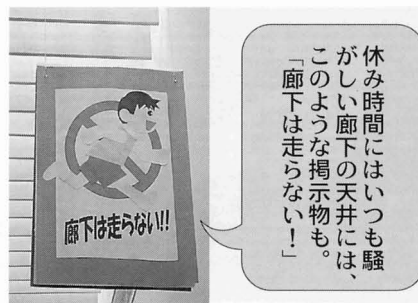


中学校では平日7時間という豊富な授業時間、土曜日の教科復習日(リカバリーデー)を生かして特色のある授業が行なわれています。今回は普段の授業や生徒の様子を日記にしてお伝えします。

九月十六日(土)

【リカバリーデー】

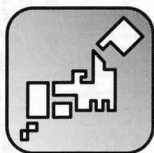
この日は、一年生も二年生も十月に行われる漢字検定に向け、漢字の問題集に取り組んでいます。毎週土曜日(リカバリーデー)は、学校に登校し、授業に向けて予習をしたり、教科ごとの復習テストを行ったりしています。クラスの仲間と一緒に頑張ることで、土曜日も勉強する習慣がついてきています。総合的な学習の時間には、美術館や博物館に出かけることもあります。



九月二十五日(月)

【社会】

一年二組十二名は、日本の地理について詳しく学習中です。今日は「山口県」について勉強します。地図やプリントを見ながら県庁所在地や特産物を調べていきます。資料の中にクラスメイトと同じ名字を見つけて盛り上がりがありました。



中学校の廊下にて

中学校の廊下には各教科の様々な掲示物があります。アメリカの国や文化を紹介するボードはALTのクリス先生が作成しています。今回は、アメリカの州の名前や特徴を紹介しています。サッカーの中田選手とテニスのシャラポワ選手が登場する会話も面白そうです。

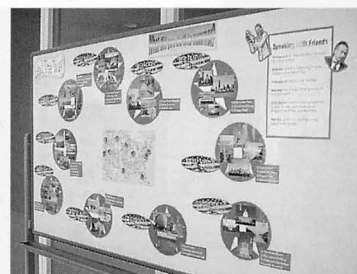


▲力作揃いです

家庭科室横の廊下には、一年生全員の夏休みの課題「手作り料理のレシピ」を見ることが出来ます。みんな家族と協力して、こだわりのおいしい料理を作った様子がわかります。



校舎内には季節の花が飾られています。



▲英語を読んでみよう!

夏休みの思い出特集(中学校行事)

楽しかった

サマーキャンプ

(一年生)

八月二十四日(木)から二十六日(土)の三日間、一年生は茨城県の栃木海浜自然の家で「サマーキャンプ」を行いました。

野外調理やいかだ作り、海での投げ釣り体験など、日頃味わうことのできない様々な活動を楽しむことができました。



一年一組

小倉 一富史

僕がサマーキャンプで一番に残ったことは、「カレー作り」です。みんなで仕事を分担して、協力しながら作りました。出来上がったカレーはとてもおいしかったです。この体験を通して、僕たちは友情を深め、心に残る思い出となりました。

一年二組

山根 聡太郎

サマーキャンプで僕が楽しかったことは、一日目に行なわれた「ウォークラリー」です。グループに分かれ、メンバー全員で協力していくもののチェックポイントをクリアすることができたのが嬉しかったです。



生徒たちはグループで協力して作りたいかだを、びしょ濡れになりながら漕いでいました。

海に、山に、勉強にと、生徒たちは中学生になって初めての夏休みを充実して過ごした様子です。



英語はバッチリ!

アメリカンキャンプ

(二年生)

二年生は八月二十七日から二十九日にかけて、千葉県鴨川市で行われたアメリカンキャンプに参加しました。

アメリカ人の先生方と一緒に英語劇を演じたり、ダンスをしたりと、英語を使った活動が盛りだくさんで、生きた英語を身につけるよい機会になりました。

二年一組

館野 正樹

八月二十七日から二十九日まで「アメリカンキャンプ」がありました。現地では、先生が全員外国人の方で、一日中英語でおしゃべりをしてくれました。

英語を話すのは、最初はとても緊張しましたが、英語劇や、ディスカッションを通して、いろいろな人と仲良くなることができました。とてもいい夏の思い出になりました。



→帰る頃にはすっかり友達になりました

スポーツ

フェスティバル

九月九日(土)に、校内において「スポーツフェスティバル」が開催され、生徒3チーム・保護者3チーム・教員1チームが参加してのドッジボール大会が行われました。



昨年は、2チームでのサッカーの試合でしたが、今年はクラス数も増え、多くの保護者の皆さんのご協力もあって、盛大に大会を開催することができました。

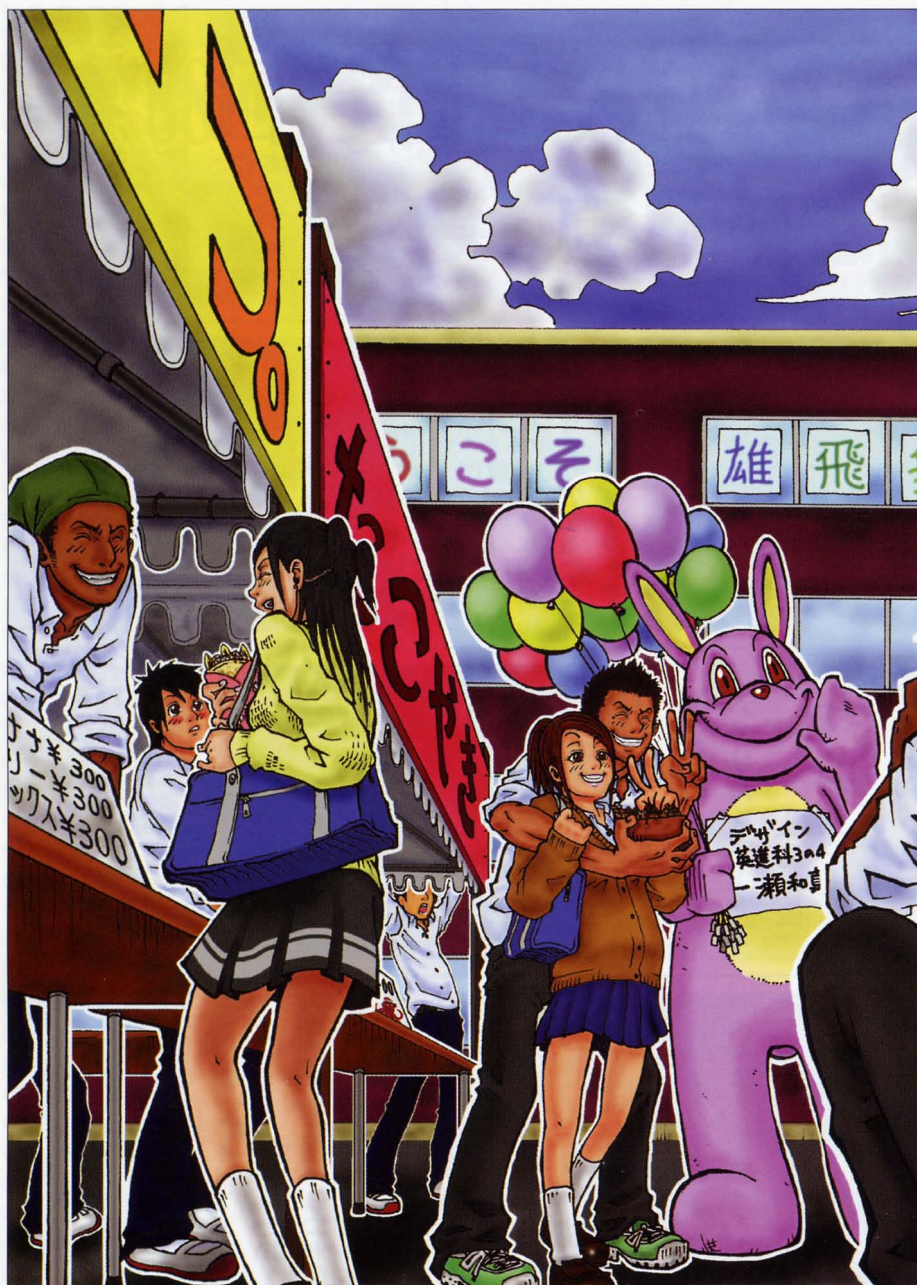


「今日は親も子もありません。優勝トロフィーを争奪することだけを考えております。」という大出PTA会長の挨拶の通り、保護者の方々や先生たちも、まるで中学生に戻ったかのように、夢中になってドッジボールの試合を楽しんでいました。

生徒たちも大人たちに負けじと戦った結果、チームワークで他チームを圧倒した二年一組が、激戦を見事全勝で制し、総合優勝を果たしました。

よりクラス数が増える来年の大会が楽しみになる盛り上がりでした。





平成18年度「雄飛祭」 テーマ「輝 跡」

平成18年10月21日(土)

↓

10月22日(日)

AM 9:00 ~ PM 2:30

(22日のみ一般公開)



第四回雄飛祭
実行委員長
三年 秋山 剛志

来る十月二十一・二十二日に本校文化祭「雄飛祭」が開催されます。

年々盛り上がりを増している雄飛祭も、今年で四回を数えることとなりました。今までは、先生方に頼り、助けていただきましたながら実施してきました。

が、今年は生徒が中心となつて、計画を立てて準備し、運営にあたります。「輝跡」というスローガンの下、この文化祭で過去最大の輝きの跡を残し、後輩たちの道標になるようなものを創り上げていきたいと思ひますので、ぜひお越し下さい。

文星芸術大学附属中学校 入学試験日程

第1回入試

出願期間 平成18年11月20日(月)~27日(月)

試験日 平成18年12月2日(土)

試験科目 4教科・2教科(国算), および面接

第2回入試

出願期間 平成18年12月18日(月)~20日(水)

試験日 平成19年1月7日(日)

試験科目 4教科・2教科(国算), および面接

第3回入試

出願期間 平成19年2月5日(月)~7日(水)

試験日 平成19年2月10日(土)

試験科目 2教科(国算), および面接

文星芸術大学附属高等学校 入学試験日程

前期入学試験

出願期間 平成18年12月14日(木), 15日(金)

[学力特待生(5教科)試験]

試験日 平成19年1月11日(木)

[スポーツ・文化特待生, 推薦, 一般(3教科)試験]

試験日 平成19年1月12日(金)

後期入学試験

出願期間 平成19年1月31日(水), 2月1日(木)

[学力特待生(5教科), 一般(3教科)試験]

試験日 平成19年2月6日(火)